

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 4 月 9 日 (2009.4.9)

【公開番号】特開 2007-235810 (P2007-235810A)
 【公開日】平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-035
 【出願番号】特願 2006-57574 (P2006-57574)
 【国際特許分類】

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/247 (2006.01)

H 0 4 M 3/56 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/00 R

H 0 4 M 1/247

H 0 4 M 3/56

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 2 月 17 日 (2009.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

操作部に備えられた P T T (Push to Talk) ボタンを押下することにより、P o C 通信用の音声データを送信する権利となるフロア権を取得して、指定した通信相手に対して音声データを S I P (Session Initiation Protocol) プロトコルを用いて送信する P o C (Push-to-Talk over Cellular) 機能を有する携帯電話装置と、前記フロア権を管理し、該フロア権を有する前記携帯電話装置からネットワークを介して送信されてくる音声データを、送信先の通信相手に対して前記ネットワークを介して転送する P o C サーバと、を少なくとも含んで構成される携帯電話システムにおいて、前記フロア権を取得した前記携帯電話装置が、P o C 発言用として入力したテキストを、P o C 発言用の音声データに変換して送信することができる一方、前記携帯電話装置が、前記フロア権を渡した通信相手から P o C 通話用の音声データを受信した際に、受信した前記音声データを、P o C 受話用のテキストデータに変換して表示部に表示出力することができることを特徴とする携帯電話システム。

【請求項 2】

前記携帯電話装置において、前記 P T T ボタンを押下した際に、P o C 発言用のテキストが入力されているか否かに基づいて、P o C 発言用の音声データを、入力されている前記テキストを変換して送信するか、あるいは、マイクから入力されてくる音声をそのまま送信するかを判別する一方、前記通信相手から P o C 通話用の音声データを受信した際に、当該通信相手に対する P o C 発言用の音声データとしてテキストを入力している状態にあったか否かに基づいて、受信した前記音声データを、P o C 受話用のテキストデータに変換して前記表示部に表示出力するか、あるいは、そのままスピーカから出力するかを判別することを特徴とする請求項 1 に記載の携帯電話システム。

【請求項 3】

操作部に備えられた P T T (Push to Talk) ボタンを押下することにより、P o C 通信用の音声データを送信する権利となるフロア権を取得して、指定した通信相手に対して音

声データを S I P (Session Initiation

Protocol) プロトコルを用いて送信する P o C (Push-to-Talk over Cellular) 機能を有する携帯電話装置において、前記フロア権を取得した場合、P o C 発言用として入力したテキストを、P o C 発言用の音声データに変換して送信することができることを特徴とする携帯電話装置。

【請求項 4】

前記 P T T ボタンを押下した際に、P o C 発言用のテキストが入力されているか否かに基づいて、P o C 発言用の音声データを、入力されている前記テキストを変換して送信するか、あるいは、マイクから入力されてくる音声をそのまま送信するかを判別することを特徴とする請求項 3 に記載の携帯電話装置。

【請求項 5】

操作部に音声入力抑止ボタンを備え、前記 P T T ボタンを押下した際に、前記音声入力抑止ボタンが押下されているか否かに基づいて、P o C 発言用の音声データを、入力されている前記テキストを変換して送信するか、あるいは、マイクから入力されてくる音声をそのまま送信するかを判別することを特徴とする請求項 3 または 4 に記載の携帯電話装置。

【請求項 6】

前記音声入力抑止ボタンを、周囲に迷惑をかけないように音声を外部に出力しない状態に設定するために備えられているマナーモードボタンと共用していることを特徴とする請求項 5 に記載の携帯電話装置。

【請求項 7】

操作部に備えられた P T T (Push to Talk) ボタンを押下することにより、P o C 通信用の音声データを送信する権利となるフロア権を取得して、指定した通信相手に対して音声データを S I P (Session Initiation Protocol) プロトコルを用いて送信する P o C (Push-to-Talk over Cellular) 機能を有する携帯電話装置において、前記フロア権を渡した通信相手から P o C 通話用の音声データを受信した際に、受信した前記音声データを、P o C 受話用のテキストデータに変換して表示部に表示出力することができることを特徴とする携帯電話装置。

【請求項 8】

前記通信相手から P o C 通話用の音声データを受信した際に、当該通信相手に対する P o C 発言用の音声データとしてテキストを入力している状態にあったか否かに基づいて、受信した前記音声データを、P o C 受話用のテキストデータに変換して前記表示部に表示出力するか、あるいは、そのままスピーカから出力するかを判別することを特徴とする請求項 7 に記載の携帯電話装置。

【請求項 9】

操作部に音声出力抑止ボタンを備え、前記通信相手から P o C 通話用の音声データを受信した際に、前記音声出力抑止ボタンが押下されているか否かに基づいて、受信した前記音声データを、P o C 受話用のテキストデータに変換して前記表示部に表示出力するか、あるいは、そのままスピーカから出力するかを判別することを特徴とする請求項 7 または 8 に記載の携帯電話装置。

【請求項 10】

前記音声出力抑止ボタンを、周囲に迷惑をかけないように音声を外部に出力しない状態に設定するために備えられているマナーモードボタンと共用していることを特徴とする請求項 9 に記載の携帯電話装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

(1) 操作部に備えられた P T T (Push to Talk) ボタンを押下することにより、 P o C 通信用の音声データを送信する権利となるフロア権を取得して、指定した通信相手に対して音声データを S I P (Session Initiation Protocol) プロトコルを用いて送信する P o C (Push-to-Talk over Cellular) 機能を有する携帯電話装置と、前記フロア権を管理し、該フロア権を有する前記携帯電話装置からネットワークを介して送信されてくる音声データを、送信先の通信相手に対して前記ネットワークを介して転送する P o C サーバと、を少なくとも含んで構成される携帯電話システムにおいて、前記フロア権を取得した前記携帯電話装置が、 P o C 発言用として入力したテキストを、 P o C 発言用の音声データに変換して送信することができる一方、前記携帯電話装置が、前記フロア権を渡した通信相手から P o C 通話用の音声データを受信した際に、受信した前記音声データを、 P o C 受話用のテキストデータに変換して表示部に表示出力することができる携帯電話システム。

(2) 前記携帯電話装置において、前記 P T T ボタンを押下した際に、 P o C 発言用のテキストが入力されているか否かに基づいて、 P o C 発言用の音声データを、入力されている前記テキストを変換して送信するか、あるいは、マイクから入力されてくる音声をそのまま送信するかを判別する一方、前記通信相手から P o C 通話用の音声データを受信した際に、当該通信相手に対する P o C 発言用の音声データとしてテキストを入力している状態にあったか否かに基づいて、受信した前記音声データを、 P o C 受話用のテキストデータに変換して前記表示部に表示出力するか、あるいは、そのままスピーカから出力するかを判別することを上記 (1) の携帯電話システム。

(3) 操作部に備えられた P T T (Push to Talk) ボタンを押下することにより、 P o C 通信用の音声データを送信する権利となるフロア権を取得して、指定した通信相手に対して音声データを S I P (Session Initiation Protocol) プロトコルを用いて送信する P o C (Push-to-Talk over Cellular) 機能を有する携帯電話装置において、前記フロア権を取得した場合、 P o C 発言用として入力したテキストを、 P o C 発言用の音声データに変換して送信することができる携帯電話装置。

(4) 前記 P T T ボタンを押下した際に、 P o C 発言用のテキストが入力されているか否かに基づいて、 P o C 発言用の音声データを、入力されている前記テキストを変換して送信するか、あるいは、マイクから入力されてくる音声をそのまま送信するかを判別する上記 (3) の携帯電話装置。

(5) 操作部に音声入力抑止ボタンを備え、前記 P T T ボタンを押下した際に、前記音声入力抑止ボタンが押下されているか否かに基づいて、 P o C 発言用の音声データを、入力されている前記テキストを変換して送信するか、あるいは、マイクから入力されてくる音声をそのまま送信するかを判別する上記 (3) または (4) の携帯電話装置。

(6) 前記音声入力抑止ボタンを、周囲に迷惑をかけないように音声を外部に出力しない状態に設定するために備えられているマナーモードボタンと共用している上記 (5) の携帯電話装置。

(7) 操作部に備えられた P T T (Push to Talk) ボタンを押下することにより、 P o C 通信用の音声データを送信する権利となるフロア権を取得して、指定した通信相手に対して音声データを S I P (Session Initiation Protocol) プロトコルを用いて送信する P o C (Push-to-Talk over Cellular) 機能を有する携帯電話装置において、前記フロア権を渡した通信相手から P o C 通話用の音声データを受信した際に、受信した前記音声データを、 P o C 受話用のテキストデータに変換して表示部に表示出力することができる携帯電話装置。

(8) 前記通信相手から P o C 通話用の音声データを受信した際に、当該通信相手に対する P o C 発言用の音声データとしてテキストを入力している状態にあったか否かに基づいて、受信した前記音声データを、 P o C 受話用のテキストデータに変換して前記表示部に表示出力するか、あるいは、そのままスピーカから出力するかを判別する上記 (7) の携帯電話装置。

(9) 操作部に音声出力抑止ボタンを備え、前記通信相手から P o C 通話用の音声デー

タを受信した際に、前記音声出力抑止ボタンが押下されているか否かに基づいて、受信した前記音声データを、P o C 受話用のテキストデータに変換して前記表示部に表示出力するか、あるいは、そのままスピーカから出力するかを判別する上記(7)または(8)の携帯電話装置。

(10) 前記音声出力抑止ボタンを、周囲に迷惑をかけないように音声を外部に出力しない状態に設定するために備えられているマナーモードボタンと共用している上記(9)の携帯電話装置。

—